



2022年5月12日

各位

会社名 日本化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 棚橋 洋太
(コード番号 4092 東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 熊田 雄司
(TEL 03-3636-8038)

繰延税金資産の計上及び2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期決算において繰延税金資産の回収可能性の見直しを行い、繰延税金資産を追加計上いたしました。また、2021年8月11日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上

当社は、近年の業績が堅調に推移していることに鑑みて、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」における会社分類の見直しを行い、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました。その結果、2022年3月期決算において、回収可能性のある繰延税金資産を追加計上し、法人税等調整額△16億8百万円(△は利益)を計上いたしました。

2. 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,000	4,000	4,000	2,600	295.60
今回発表実績 (B)	37,275	3,921	3,864	3,735	424.47
増減額 (B-A)	1,275	△78	△135	1,135	—
増減率 (%)	3.5	△2.0	△3.4	43.7	—
(参考)前期実績(2021年3月期)	34,642	2,783	2,315	2,182	248.11

3. 差異の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、おおむね前回発表予想どおりに推移いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記「1. 繰延税金資産の計上」に記載の理由のとおり、法人税等調整額に△16億8百万円(△は利益)を計上したため、前回予想を大幅に上回る結果となりました。

以上